

第7回小田滋賞選考経過及び授賞式中止のお知らせ

一般財団法人国際法学会は、国際法、国際私法、国際政治・外交史の分野における研究を普及し、とくに将来を担う若手研究者の育成を促進するために、「小田滋賞」を設け、同分野に関する優秀な論文を顕彰しています。第7回小田滋賞の募集には、12編の応募があり、その内訳は、国際法7編、国際私法2編、国際政治・外交史3編でした。また、応募者には7名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分かれます。予備審査の結果、8編の応募論文が最終選考の対象となりました。そして、これらの論文について、代表理事から選考委員に委嘱された薬師寺公夫教授、佐野寛教授、古城佳子教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、2020年5月24日（日）に開催された第42回理事会は、第7回小田滋賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

最優秀賞

該当者なし

優秀賞 2名

西本 侑一郎（京都大学法学部） 研究分野：国際法

小杉 拓己（広島市立大学大学院平和学研究科） 研究分野：国際政治・外交史

奨励賞 3名

清水 翔（慶応義塾大学大学院法務研究科） 研究分野：国際法

古川 祐介（京都大学大学院法学研究科） 研究分野：国際私法

柴田 佳祐（広島大学大学院社会科学研究科） 研究分野：国際政治・外交史

例年は、6月に授賞式を開催し、受賞者の皆さんのほか、代表理事、選考委員、評議員、並びに理事の先生方にご列席いただいておりますが、今回はコロナ禍のために、大変残念ながら中止となりました。受賞者の皆さんには、表彰状、及び選考委員の先生方からのご講評を郵送させていただきますので、今後のご研究の励みになれば大変幸いです。皆さんのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

国際関係法教育委員会
委員長 西谷 祐子